

進路だより

令和6年1月12日
兵庫県立姫路聴覚特別支援学校
進路指導部 発行

新しい年が始まりました。この1年が皆さんにとってより充実したものとなるよう、引き続きサポートしていききたいと思います。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、進路の行事では、昨年10月に高等部1年生全員と2年生の就職希望者に対する就業体験を行い、12月に卒業生の体験談を聞く会を開催しました。今回の進路だよりは、その2つの行事のまとめを報告します。

① 10月 就業体験のまとめ（高1・高2）

今回の就業体験は個別面談の希望をもとに実習先を開拓し、下記の県下9ヶ所の事業所で受け入れて頂きました。実習先からは、このままさらに高めて欲しい力、課題として今後身につけて欲しい力など具体的なアドバイスもいただきました。今回の評価を、将来社会人として働くためのアドバイスとして今後に活かして欲しいと思います。

就業体験先	住所	実習内容
(株)ユニクロ 姫路辻井店	姫路市	品出し、販売準備
(株)阪技	高砂市	事務、P C
(株)エス・アイ	姫路市	事務、P C
住友精化(株)	播磨町	事務、軽作業
はぐるまの家	加古川市	軽作業
長田産業(株)	宍粟市	製造、事務
ウシオ精工(株)	福崎町	製造
大津ひかり作業所	姫路市	軽作業
Lovely Garden	宝塚市	軽作業

生徒の感想(抜粋)

- 掲示物の作成から清掃作業まで体験し、会社のしくみを深く知ることができた。また、働くことの難しさもよく分かった。質問することが課題なので、次に活かしていきたい。
- いらない葉を切って、花束をつくる仕事をした。楽しかった。できたらもっと行きたかった。
- 長時間の作業は慣れていなくて、集中力が切れてしまった。これからは自分から挨拶や報告ができるようになることや、集中力を高めることを目標にしていきたい。
- 一週間の体験は楽しかった。作業がわからないとき近くの人が僕に教えてくれてうれ

しかった。工場の人とも話ができて面白かった。進路についてまたしっかり考えたい。

- バナーの制作やブログ投稿、またデザインにも関わる仕事を体験した。細かい部分の作業につまずく事があったが、上手く仕上げる事ができて良かった。就業体験を通して様々なことを経験できたので、将来に活かせたらいいなと思った。
- 初めての就業体験がここでよかったと思えるくらいに楽しく仕事ができた。分かりやすく教えていただき、安心して体験することができた。家でもたくさん話をして、とてもいい1週間になった。
- 仕事に対する知識が少し広がると同時に、大変さも実感できた。限られた時間の中で作業が大変だった。色々苦勞したが、お客さんが快適に買い物して下さっているのを見て大いにやりがいを感じた。時間管理がこれからの課題だ。

就業体験先の評価(抜粋)

- 質問に対する返答はあるが、理解できないことが多かった。挨拶は、会釈をするよう指導した。他の高校生と同じ扱いをするべきか、対応が不十分だった。
- 身だしなみが気になった。今後、自分でできることは自分でする、自分から積極的に挨拶をする、「ありがとう」や「お願いします」を意識することが大切。また、周囲も本人に配慮しすぎないことが大切である。
- 作業中に聞こえないことがあったが、それを聞く度胸も大切なので改善を。仕事では自分からのコミュニケーションが必要で、聞くことは恥ずかしいことではない。挨拶や返事は出来ていて集中力もあるので、作業後の確認を徹底すればミスも防げる。
- 作業に集中できていた。写真やデザインに興味があるとのことで、積極的に学ぼうとする姿勢が良かった。これからも自分の興味や関心を大切にして、学び続けてほしい。
- 各作業に真面目に取り組んでいた。指示に対する受け答えもできており、安心して作業をお願いできた。今後の課題は漢字の読み書き、タッチタイピング、指示内容のメモをとること、など。しっかり頑張ってください。
- 丁寧に作業に取り組み、頑張っていた。現場は時間単位で動いているので、時間管理を意識できるようになると良い。

受け入れ企業様へ

就業体験を受け入れて頂いた企業や作業所の皆様には、業務ご多用にも関わらず懇切丁寧なご指導をいただきまして誠にありがとうございました。今回ご指摘頂きました課題をしっかりと受け止め、生徒と共にこの先の学習活動に取り組んでいきたいと考えています。今後とも本校の就業体験にご支援、ご理解を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

生徒のみなさんへ

今回の体験を終えたみなさんに、進路担当の立場からお願いが3つあります。

① 『感謝の気持ちを大切に』 しましょう。

今回体験ができたのは全て、企業や作業所の方々のおかげです。就業体験をお願いしても断られることの方が多い中で、**大切な時間を使ってみなさんを受け入れて下さった企業や作業所の方々への感謝の気持ち**を忘れず、この後の学校生活を過ごして下さい。

② 『授業を大切に』 しましょう。

実習先の企業から多く耳にするのが「実習日誌の文章が気になる」との指摘です。社会に出ると、手話以外にも様々なコミュニケーション手段を併用していく必要がありますが、そのなかでも特に、**文章力(特に漢字の読み書き、敬語など)が重要**になってきます。日々の授業を大切にして、しっかりとした文章力を身につけていきましょう。

③ 『体調管理を大切に』 しましょう。

今回、日程を一部欠席した人が何人かいました。社会に出ると、**体調管理も自分の責任**となります。過去には欠席日数を理由に採用を断られた会社もあります。就業体験の時だけ頑張るのではなく、**普段から不必要な遅刻や欠席をなくすよう努力**していきましょう。

② 12月 卒業生の体験談を聞く会

12月14日(木)に「卒業生の体験談を聞く会」を開催しました。講師の方々からは、学生時代の思い出や進路決定の際のエピソード、社会人としてのアドバイスなどのお話をいただきました。今回の講師は次の3名の方々です。

- ・ 一村 壮真 さん(ウシオ電機株式会社 播磨事業所 勤務)
- ・ 荻野 捺実 さん(社会福祉法人向陽福祉会 向陽苑 勤務)
- ・ 安尾 麻生 さん(県立姫路聴覚特別支援学校 勤務)

体験談Ⅰ 一村 壮真 さん

本校高等部普通科卒業後、ウシオ電機入社(5年目)。ITソリューション推進課で製品管理のアプリケーションなどを開発。趣味は野球観戦、ライブ鑑賞など。

<学校生活と進路について>

保育相談部から高等部まで本校に在籍。部活は中学部から高等部卒業まで野球部だった。はじめは教員を目指して大学進学を希望していたが学力不足を感じて断念、途中で就職希望に切り替えた。事務系の仕事を希望していたところに、ウシオ電機さんから障害者雇用の話を頂き、就業体験をさせてもらえることになった。会社の雰囲気など、とてもいい職場だと感じ、そのまま面接試験を受けて内定を頂くことができた。

<今の仕事について>

コロナ禍でリモートワークが増加。音声会議に対応するため、ビデオ会議システムの文字起こし機能や、ベルマンミノ（収音器）などを使用している。社内では「音の色」というコラムを執筆、手話サークルの講師として活動している。先日は社内の階段（直角で上り下りの音が聞こえにくかった）に衝突防止のミラーを設置する活動を行い、死角が解消されたことで健聴者からも好評を頂いた。他の場所にも少しずつミラーが普及している。

<後輩へのアドバイス>

- ①就職活動では、自分が**やりがい**を感じられそうな仕事を見つけることが大事。
- ②日頃から**優先順位**をつけて物事を行うようにする。
- ③**聞き取れないとき、うやむやにせず**きちんと内容を理解することが大事。
→自分が理解できるまで確認することが仕事の上では非常に大切。

体験談Ⅱ 荻野 捺実 さん

本校高等部生活デザイン科卒業後、向陽苑入社（５年目）。生活支援課で主に調理、厨房を担当。休日は愛犬と散歩、仕事で作る料理の練習、お菓子作り、友人と旅行などをしている。

<学校生活と進路について>

高等部から本校に戻ってきた。野球部に所属していたが、バレーボール部と陸上部も兼部していた。はじめは就職か進学（専門学校）かで迷ったが、早く自立した生活がしたいと思ったため就職に決定。実習で厨房や介護の仕事などを体験する中で調理の仕事を選択、向陽苑さんで就業体験を重ねた結果、無事に内定を頂くことができた。聞こえにくいからこそ本をたくさん読むなどして勉強することが大切。周囲の人にわかるまで色々質問するなど、実習から学ぶことはとても多かったと思う。

<今の仕事について>

施設の利用者の方に食事を調理・提供している。利用者ごとに食事の形態を変えたり、季節に合わせたメニューを工夫したり、日常生活が楽しく過ごせるように考えている。利用者の方から「ありがとう」と言ってもらえるととても嬉しく、調理の道を選んだ自分の生きがいになっている。仕事での連絡はメッセージやラインを使用している。また調理の現場では聞き取りにくい場合には筆談やメッセージカードなどを組み合わせて、内容が伝わりやすいように工夫して頂いている。

<後輩へのアドバイス>

- ①あいさつは自分からする。→また、**敬語**をしっかりと使うことが非常に大切。
- ②**時間を守る**。→相手と自分の**信頼関係**のもとになる。
- ③**復唱し、メモを取る**。→確認不足のまま作業すると、**周りに迷惑**がかかる。

体験談Ⅲ 安尾 麻生 さん

本校高等部卒業後、神戸女子大を経て民間企業で11年勤務。現在本校高等部でキャリア実践の授業などを担当。

<学校生活と進路について>

高校時代はバレーボール部所属。毎朝、朝ご飯を食べながら新聞を読んでいた。また、自分でできることはなんでも自分でしていた。勉強と部活の両立は大変だったが夏休み毎日塾に通うなどして大学に合格。文学部史学科で歴史を学び、教員免許も取得した。大学の授業では要約筆記などの情報保障が付いていた。

<会社員生活>

大学卒業後、社会経験を積んだ方が良くと考えて就職。総務室で社内報の作成、備品管理などを担当した。コミュニケーションはほぼ口話で、聞こえないことに対する周囲の理解もまだ少なかった。初めはしっかり確認せず、口形を読み取って理解したつもりで勝手に仕事を進めてしまったこともあった。色々苦労したが、身振りや筆談などを色々工夫していくことで、スムーズに仕事ができるようになった。

<後輩へのアドバイス>

- ①聞こえないことを、周囲の人にも理解してもらうことが必要。
→自分のことをよく知り、自分から相手に話していくことが大切。
- ②聞こえないことや色々な失敗は、恥ずかしいことではない。
- ③何事にも積極的にチャレンジして下さい。
→何事も経験。失敗は自分を成長させてくれる。

生徒の感想より(抜粋)

- 先輩方に共通していたのが、「分かるまで質問・確認をする」ということでした。ぼくは自分から話すことが苦手なので、今回の話を通じて直していこうと思いました。
- 社会に出たら、わからないことや困ったことがたくさんあるんだなと分かった。私も困った時などにはすぐに聞こうと思った。
- 今日話を聞いて、自分から聞こえる人に色々説明することや、必要に応じて筆談をすることが大切だとわかった。就職が決まったら、このようなことに気を付けていきたいと思った。
- ぼくも将来先輩方のように、仕事ができるようにがんばりたいと思った。
- 物事に優先順位をつけていくことや、相手と目線を合わせて話すことなど、色々参考になった。仕事をする上での大切なことやコミュニケーションの取り方など、社会に

出てからの重要な内容ばかりで、とても勉強になりました。

- 挨拶をすることはマナーとしても大切だけれど、自分から挨拶するのは、聞こえない自分を理解してもらうため、などの理由があることを教えて頂いたので、なるほどと思いました。
- 先輩方みなさんそれぞれ失敗もあつたり、その反面嬉しいこともあつたとのことで、私も将来聞こえる人たちの中に入る時には自分に自信を持って、失敗をしてもすぐに解決法を見つけていきたいと思いました。
- 私は聞き取れないときに分かったふりをしてしまうのがくせなので、将来に向けてきちんと内容が理解できるまで話をするのを覚えていきたいです。

保護者の感想より(抜粋)

- 卒業生のみなさんがしっかりと気持ちや経験を伝えられていて、昔をなつかしく思い出しながら聞きました。機会があれば、重度聴覚障害の先輩の話も聞かせていただけたらと思います。ありがとうございました。
- 進学先での苦労や社会人経験のお話がとても現実感が伝わって、良かった。数か月後社会に出る生徒たちにも参考になったと思う。また今年は通訳があり、とても良かった。
- 失敗は自分を成長させる、という言葉が心に響いた。社会人として色々な経験をされている先生が学校にいらっしゃることで、とても安心した。
- 企業での経験談を聞けて良かった。みなさんの話をもっと聞き（見）たかった。堂々と手話でお話してほしかった。（※進路より。今回は学校から通訳を依頼しました。）

卒業生の皆様、お忙しい中のご講演、本当にありがとうございました。在校生の皆さんも今回の先輩方のアドバイスを胸に刻んで、就職や進学に向けて日々の学校生活を充実させていってほしいと思います。

今年度末までの進路行事

- ・ 1月13日（土）高等部進学希望者 進研模試（1、2年）
- ・ 2月 3日（土）大学入学共通テスト模試（マーク模試）（2年）
- ・ 2月～3月中旬 就業体験（高等部2年生・随時）

いよいよ高等部2年生も卒業後の進路に向けての動きがスタートします。